

お 名 前	性 別	卒 業 年	小 学 校	現 住 所
宇理小卒業生		昭 3 7 年	宇理小	

「先生の体罰」

「小1と小5・6年を山田先生という熱心な先生に教えてもらいました。特に5・6年の時は熱心さのあまり、今でいう体罰をしょっちゅうされました。ちょっとしたことでもビンタは付きもので、廊下を端から端まで拭かせられたり、体育で時間いっぱいまで走らされたりしました。宿題を忘れるとバケツを持って、



昭34年 宇理小運動会

頭の上に置いて廊下に立たされましたよ。ビンタをされなかった子の方が少なくて、毎日やられた子もいました。たたかれると火花が飛ぶように痛かった。」

「Kちゃんはたたかれなかったら。」

「1回もないよ。」

「すごいね、珍しいね。」

「N君は、全校の前でガーンとたたかれたよね。当番の仕事をやらなかったとかの理由で。」

「覚えてる、覚えてる」

「当時は、先生の体罰は当たり前で、親で文句を言う人はもいなかったね。」

「私も何回かたたかれたよ。あれは熱心さなんかじゃなくて先生のストレスだと思うよ。たたかれたことを親には1回も言ったことないけど、T君が親にしゃべって、それが私の親に通じて全部知られちゃってた。」

「たたかれたことを自分から親に言う子はいなかったね。言えば親にも叱られることになるからさ。」

「毎日何人も張り倒されていたし、女の子も何人もたたかれたね。先生の体罰は、良くも悪くも同級生共通の話題ですよ。」

「それでもグレなかったし、学校は休まなかった。学校へは絶対行かなくてはいけないものだと思っていたから。学校の事務員のお母さんが、『あんなに怒らなくてもいいのに』と言っていたのを覚えているよ。」

「私がよくたたかれたのは、友達から話しかけられるとついしゃべってしまうので、それで先生に目を付けられたのだと思う。チョークが飛んできて、私は運動

神経が鈍くてよけられず、おでこに当たって、痛くてちょっと先生をにらんだらたたかれることになったじゃんね。」

「廊下をパタパタ固いスリッパの音がすると、みんな『先生が来たぞ〜!』と、すぐに静かになった。それほど山田先生は怖かったよ。」

「すごい叱られたのでもう思い出したくないね。」

「楽しかったこと」

「楽しかったことといえば、遠足で潮干狩りに行ったことだね。豊橋の吉崎海岸だったと思うけど、バスの中で歌を歌ったりおやつを食べたりしたことは楽しかったね。」

「運動会は地域ぐるみだったね。景品も網デッキのような生活用品が出ておもしろかった。借り物競争のような大人の競技の景品だったけどね。子どもは参加賞のノートか鉛筆だったと思うけど、通学団リレーは別に景品があって盛り上がってね。通学団で一番速い子しか走れなくて、運動場を行進で1周回る時から地域の人々の応援がすごくて、一番もりあがる種目だったね。当時は広い運動場だと思っていたけど、今ではとても狭く感じるね。運動場は昔のままなの。」

「閉校後のことだけど、校舎の火事があって南校舎は焼けてしまった。5・6年の教室と図書室、音楽室などが焼けてしまった。講堂から裏の校舎は焼けずにすんだから今も残っているよ。」

「昔は『かどや』が村の中心で、だっこちゃんとかかフラフープなどを売っていたり、かき氷を食べたりした。バナナもあったけど高くて買えなかった。よろず屋で、下駄も教科書も釣り竿も運動具も何でもあった。夜になると酒屋になって生活の中心だったね。テレビも早く入ったので大勢の人でいっぱいだったよね。」

「学校帰りに喉が渇いて、いつもかどやの奥で水をよばれたよ。」

「個人的には、Kちゃんと裏の山でチャンバラごっこをやって、負けるとお菓子をくれるので、よく負けた覚えがある。Kちゃんが弁当にソーセージを輪切りにして持ってきたことがある。お店屋だったので、当時発売されたソーセージを食べているのがうらやましかった。」



昭和44年 宇理小が八名小へ統合

令和6年(2024)4月28日

<協力者>

梅澤慶充さん、大西幸代(牧野)さん
村田勝博さん、白井みつ子さん
中村敏治さん

八名中学校同窓会にて(於:さかきや)